

高性能水性反応硬化形フラット塗料(AEP-R)

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

バイオフィイン®

JIS K 5660
つや有合成樹脂エマルジョンペイント
認証取得製品 (バイオフィイン艶有り)

JIS K 5663
合成樹脂エマルジョンペイント及びシーラー
合成樹脂エマルジョンペイント1種 認証取得製品
(バイオフィイン艶消し)

防火認定材料
<バイオフィイン艶消し>
(NM-8585/不燃、QM-9816/準不燃、RM-9364/難燃)



汚染を防ぐ優れた塗膜性能、しかも低臭性、 新築をはじめ改装にも適した理想的なフラット塗料。

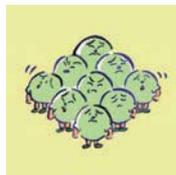


刺激臭の強い塗料の使用は気分を害するだけでなく、食品工場・厨房などでは商品への悪影響も考えられます。また、室内の汚れた壁面は見苦しいだけでなく、「ばいきん」の温床となり、不衛生なものです。この「バイオフィン」は、水性でしかも反応硬化形の樹脂を採用。低臭性かつ優れた塗膜性能を発揮する塗料ですから、安心してご使用いただけます。さらに、衛生的な壁面を長期に亘って保ちます。

新技術・水性反応硬化タイプが可能にした理想のフラット塗料

塗膜になる前は、水の中に樹脂粒子が浮かんでいる状態にあります。塗膜は水の蒸発とともに樹脂粒子が接触し、物理的に融着することにより形成されます。しかし、水性反応硬化技術は樹脂粒子同士が融着するとともに粒子同士を化学的に結合させることにより樹脂の分子量を飛躍的に増大させます。このため従来の塗料と比べて優れた塗膜性能を発揮することができるのです。

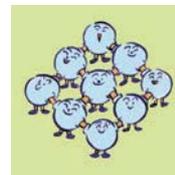
水が蒸発し、樹脂粒子は単に、物理的に融着しているだけ。



乾燥後

●従来技術●

●新技術●



水が蒸発した後、樹脂粒子は互いに化学的に結合(架橋)する。

特長

優れた塗膜性能

耐水・耐アルカリ性・耐溶剤性に優れた塗膜は、内・外装の各種下地に幅広く適用することができます。

- ※1.バイオフィン艶消しはJIS K 5663 表示製品です。
- ※2.バイオフィン艶有りはJIS K 5660 表示製品です。

汚染除去性

内装の壁面は、ほこりや手垢で汚れがちです。「バイオフィン」は、塗膜が傷つきにくく、汚れを簡単に拭き取ることができます。(反応硬化型塗膜は、塗膜表面が緻密で強じんため)

防かび・防藻性

汚染には微生物によるものもあります。「バイオフィン」は特殊設計により、かびや藻等による微生物汚染を防ぎ、常に清潔で衛生的な環境を維持できます。

低臭性

従来のフラットペイントは水性塗料であっても、塗装後、数日間に亘って臭気がこもり、不快感が残りました。「バイオフィン」は低臭性のため、塗装中・塗装後も臭いがほとんど気にならず、快適な環境を維持することができます。

抜群の作業性

隠ぺい性が良く、塗り継ぎや、刷毛・ローラー塗装に優れた作業性を示します。

一液水性タイプ

一液形のため、わずらわしい調合が不要であり、常に安定した品質が得られます。また、水性塗料のため、火災や有機溶剤中毒の心配がほとんどありません。しかも、ホルムアルデヒドを始め、厚生労働省が室内環境基準として指定する13物質*を一切含んでいません。

*本カタログ製作時における指定物質

性能試験成績表

1 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント1種(屋外用)による物性試験

試験項目	結果	品質
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。
塗装作業性	合格	2回塗りで、塗装作業に支障があつてはならない。
低温安定性(-5℃)	合格	変質してはならない。
乾燥時間	標準状態	合格 2時間 以内
	5℃	合格 4時間 以内
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
隠ぺい率 % (白及び淡彩)	合格	93 以上
耐水性	合格	96時間浸したとき異常がないものとする。
耐アルカリ性	合格	48時間浸したとき異常がないものとする。
耐洗浄性	合格	500回の洗浄に耐えるものとする。
促進耐候性	合格	異常がない。
屋外暴露耐候性	合格	12か月の試験で、膨れ・はがれ及び割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。

この試験結果は、バイオファイン艶消しのものです。

2 その他の物性結果(汎用AEPとの比較)

試験項目	バイオファイン	汎用AEP	試験方法
耐洗浄性	20,000回以上 合格	3,000回で下地が露出	JIS K 5663 7.12に準拠 ブラシに約450gの圧力を加えながら表面をこする。
防かび性	4	1	JIS Z 2911に準拠 28℃、2週間培養 評価:4(かび発生なし) >>1(大量のかび発生)

施工性

項目	バイオファイン	汎用AEP	
仕上がり感	レベリング性(ローラー)	◎	△
	刷毛目	◎	△
刷毛さばき性	◎	◎	
臭気	◎	○	
塗り重ね性	○	△~○	
艶むら	○	△~○	

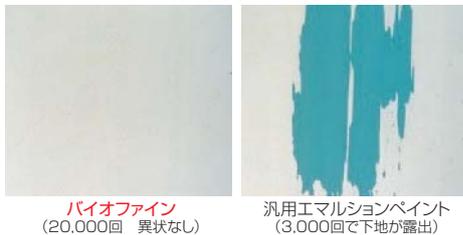
評価:◎>○>△

各種性能

優れた塗膜性能

耐水・耐アルカリ・耐溶剤性、耐久性に優れた塗膜は、内外装の各種下地に幅広く適用することができます。

耐洗浄性試験



屋外暴露後の塗膜表面



汚染除去性

塗膜は緻密で硬く、下地との密着性に優れているため、塗膜が傷つきにくく、汚れを簡単に除去できます。

耐溶剤性試験

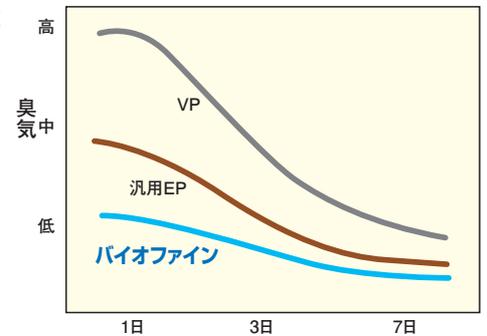
- 試験方法
下の写真のように油性マジックで塗膜表面を落書きし、エタノールを用いて拭き取る。
- 試験結果
バイオファインは異状ないが、汎用AEPは塗膜が膨潤、溶解する。



低臭タイプ

低臭タイプですので、塗装中、塗装後も臭いがほとんど気にならず、快適な環境を維持することができます。

塗装後の臭気性



防かび・防藻性

特殊設計により、かびや藻などの微生物汚染を防止し、常に衛生的な環境を維持します。

防かび試験



防藻試験



標準施工仕様

●内装仕様(新築)

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
1	※1.2.3 下塗り 水性ミラクシーラーエコ (クリアー・ホワイト)	既調合	0.10~0.13	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
(2)	※5.6 パテかい 研 磨 (内部塗装)	●仕上げ用パテを使用し、凹部を中心にへらでパテかいしてください。 ●P220~P240のサンドペーパーでパテかい部を中心に均一に研磨してください。						
3	※8 上塗り	バイオファイン(艶消し・艶有り)	100	0.25~0.30	2	2以上	—	24以上
	清	水	5~15 ※7	—				

●外装仕様(新築)

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							—
1	※1.3.4 下塗り 水性ミラクシーラーエコ (クリアー・ホワイト)	既調合	0.10~0.13	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
2	※8 上塗り	バイオファイン(艶消し・艶有り)	100	0.25~0.30	2	2以上	—	24以上
	清	水	5~15 ※7	—				

- ※ 1. 下地の状況に応じて下塗材を選択してください。
- ※ 2. 改装時、やに・あくが付着している場合は、中性洗剤などで拭き取った後、あらかじめSK水性ヤニ止めシーラー(15kg石油缶)を塗付してください。
- ※ 3. SK水性ヤニ止めシーラー、水性ミラクシーラーエコは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けると共に、同じ洗い水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
- ※ 4. 下地の種類によっては、下塗材の選定が必要になります。特に押出成形セメント板、GRC板、PC部材などには、下塗材として、★エスケーハイブリッドシーラーEPO(15kgセット)、または★マイルドシーラーEPO(14kgセット)、★ミラクシーラーEPO(15kgセット)をご使用ください。なお、軽量PC部材への施工は避けてください。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※ 5. 仕上げ用パテが防かび剤を含有する場合、塗膜に支障をきたす可能性がありますので、試験塗りをを行い、十分に確認した上で本施工に入ってください。
- ※ 6. パテかい部が他の面と比べ吸込み差を生じるおそれがある場合は、パテかい部を中心に下塗材を塗付してください。
- ※ 7. 清水での希釈率は、スプレー塗り時で「10~15」、刷毛・ローラー塗り時で「5~10」となります。
- ※ 8. 上塗材の希釈率は、試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- ※ 9. 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈率等を決定してください。
- ※ 10. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- ※ 11. かび、藻が付着している場合は、「SKKカビ除去剤#5(塩素系)」にて拭き取ってください。
- ※ 12. 既存塗膜の剝離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ※ 13. 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りや仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合があります。
- ※ 14. 艶調整品は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また濃い色目になると、ローラー塗装時に塗継ぎ箇所で見えにくくする傾向があります。試し塗りを行ってください。
- ※ 15. 濃色や原色に近い色目は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性がある部位への施工は避けてください。
- ※ 16. 上塗りにイロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠れ性の高い色目を塗るため、予め隠れ性の良い共色を塗装してください。
- ※ 17. 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- ※ 18. 塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- ※ 19. 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- ※ 20. 著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤系塗料での塗装を推奨いたします。
- ※ 21. 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- ※ 22. 強風時、または降雪、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下での施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により周囲気温、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- ※ 23. 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- ※ 24. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。
- ※ 25. 「所要量」は塗装条件などにより異なりますが、被塗装面に付着させる塗材の「標準塗付量」は、水性ミラクシーラーエコ(クリアー・ホワイト)で「0.08~0.10kg/m²」、バイオファイン(艶消し・艶有り)で「0.22~0.24kg/m²」となります。なお、各材料の使用数量などを算出する際には、「所要量」を基準としてください。
- ※ 26. 防火認定仕様、または公共建築工事標準仕様(新築・改修)につきましては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

荷姿

水性ミラクシーラーエコ (クリアー・ホワイト)

15kg石油缶 (115~150m²/缶)

バイオファイン (艶有り・艶消し)

16kg石油缶 (53~64m²/16kg缶)

4kg缶 (13~16m²/4kg缶)

※上記の標準塗率は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

■危険情報と安全対策

- 製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。
 下記に、★印のついてる製品は溶剤系のため、下記の点にご注意ください。
 1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
 2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
 3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

■施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

適用下地

コンクリート、セメントモルタル、スレート板、各種ボード など



本 社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎072-621-7733
 東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601 国際事業本部 ☎072-621-7727
 札幌支店 ☎011-784-4000 千葉支店 ☎043-304-0411 名古屋支店 ☎052-561-7712 神戸支店 ☎078-671-0451 福岡支店 ☎092-629-3427
 仙台支店 ☎022-259-2431 埼玉支店 ☎048-686-2391 京都支店 ☎075-646-3967 広島支店 ☎082-943-5043
 東京支店 ☎03-3204-6601 横浜支店 ☎045-820-2400 大阪支店 ☎072-621-7721 高松支店 ☎087-865-5411

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

- このパンフレットに記載の商品は予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。
- また、このカタログに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。
- 特記仕様がある場合はこれを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

特約販売店

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>

[製作年月:2020年10月] (2010.H2)